

システムライフサイクルを デジタル化するExastro活用術

2020年
9月11日 金
13:00~16:00
(受付開始 12:30)

攻めと守りの自動化でニューノーマルを勝ち抜く

近年、システム構築・運用の自動化は、省力化や効率化を目的に進化してきました。そして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な拡大による影響で、「自動化」は、ニューノーマル時代に合ったシステム構築・運用を実現する手段の一つとして、改めて注目を集めています。本セミナーでは、「自動化」によりこれまで人手でカバーしてきた潜在的なシステム構築・運用の課題をどのように解決できるのかを解説します。さらに、スピーディーなサービス展開でビジネスの優位性を支えるためにも「自動化」が KFS(重要成功要因)であることを解説します。NTTドコモ様、レッドハット様をお迎えしたトークセッションもご用意しており、本領域での取り組みについてディスカッションいたします。この貴重な機会を是非ご活用ください。

実施方法：Webミーティングツール
(開催前までに接続方法をメールでご連絡いたします。)

※Exastro(エグザストロ)：システムライフサイクル(設計・開発・設定・運用)をデジタル化・自動化・省力化することを目的としたオープンソースのソフトウェアスイート。

講師

Session 1 13:00 - 13:45



吉田 功一
NEC サービス&プラットフォームSI事業部

攻めと守りの両面からシステム構築・運用を デジタル化するオープンソースの ソフトウェアスイート「Exastro」とは

「攻めのデジタル化・自動化」とは何か? 「守りのデジタル化・自動化」とは何か? これらは目的・領域の違いから、今まで別々に議論されてきました。ところが、ニューノーマルにおけるデジタル化の加速を受け、想定よりも早くこれらをハイブリッドで活用すべき時代が到来しました。本セッションでは、「そもそも攻めと守りとは何を意味するのか?」を解説します。そしてそれらの「デジタル化・自動化」を実現するためのソフトウェアである「Exastro」を紹介します。

Talk Live 1 13:45 - 14:15

NTTドコモと共に考える! 運用の進むべき道 ~システム運用からサービス運用へ~

運用基盤では「システムで何が起きているのか」をモニタリングする機能は充実していますが、現場の運用者が知りたいのは「サービスで何が起きているのか」なのです。本セッションでは、「サービスのための運用」を実現するために取るべきアプローチを熱く討論します。

パネラー



山上 拓也
NTTドコモ
サービスデザイン部
運用企画担当



遠藤 裕己
NEC
OMCS事業部

モデレータ 吉田 功一 NEC サービス&プラットフォームSI事業部

Session 2 14:20 - 14:55

まずは守りの自動化を! 日々繰り返すアラート対応はExastroにお任せあれ

システム規模が大きい場合や、複数のシステムを統合運用する場合などに、日々大量に挙がるアラートメッセージへの対応に忙殺されることはよくあるケースです。本セッションでは、「守りのデジタル化・自動化」を適用すべき代表的なケースとして、日々繰り返すアラート対応を如何にして自動化・省力化することができるのかを、実機デモを交えながら分かりやすく解説します。

講師



河野 友生子
NEC サービス&プラットフォームSI事業部

Talk Live 2 14:55 - 15:20

レッドハットと共に考える! クラウドネイティブに対応した あるべきインフラの姿とその運用

ITがスピーディーなサービス展開に追いつき、ビジネスの優位性を支えるという攻めのIT戦略の見地から、DXやクラウドネイティブの気運は高まり続けています。そしてクラウドネイティブで特に重要とされているのは「設計に自動化を組み込む」という原則です。本セッションでは、インフラの設計に自動化を組み込み、そしてそれを運用するために検討すべきポイントをクールに討論します。

パネラー



安楽 慎吾
レッドハット株式会社
テクニカルセールス本部
パートナーソリューション
アーキテクト部



久富 孝司
NEC
先端SI技術開発本部
OSS推進センター

モデレータ 吉田 功一 NEC サービス&プラットフォームSI事業部

講師

Session 3 15:25 - 16:00



脇谷 徹
NEC サービス&プラットフォームSI事業部

そして攻めの自動化へ! Exastroによるクラウドシフトの実現方法

クラウドネイティブでは、作業量に糸目を付けてはならず、その前提においても稼働爆発しないように、原則としてあらゆる作業を自動化しなければなりません。そのためには、2種類の自動化メソッドを駆使する必要があります。手続型の自動化と宣言型の自動化です。本セッションでは、ガバナンスの効いたAWSシステムを構築し、さらに稼働中の仮想マシン(EC2)にパッチ適用するといったシナリオを題材に、クラウドネイティブにおいて2種類の自動化メソッドの両方が必要になることを解説します。

セミナーの詳細・お申し込みはこちら ※申し込み締切 9月10日(木) 17:00
<https://exastro-suite.github.io/docs/event/20200911.html>

